
私立蒼月高等学校

月の黒兎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私立蒼月高等学校

【Nコード】

N9103C

【作者名】

月の黒兎

【あらすじ】

ここは私立蒼月高等学校。そこで起きる普通な日々の物語。

出席番号1番 出会いは最悪の形で（前書き）

ムダにテンションが高く、わかりにくい面もあるかもしれませんが、
よろしくおねがいします。

出席番号1番 出会いは最悪の形で

ここは私立蒼月高等学校。

試験に合格すれば入れる普通の学校である。

これはそんな普通の学校で起こる日々の物語。

私の名前は波野^{なみの} 美奈^{みな}。

雑誌で人気の普通の髪型に雑誌で取り上げられていた普通のメイクを施した普通の女子高生。

好きな言葉は「長いものには巻かれる。」

今人気のCMで流れているありきたりな歌をはずさみながら自販機へ向かう。

女子「美奈ー。どこ行くのー？」

美奈「自販機ー。」

女子「そかー、いつてらー。」

美奈「あいあい。」

自販機の目の前で財布を出す。

美奈「んふーんふっふーん」

ジャラジャラ。

財布から120円分の小銭を出し、自販機に飲ませる。

不意に顔の横から手が伸びる。

顔の前で点滅しているボタンのうちの一つを頭のすぐ隣から伸びた腕から突き出された指が押す。

ガゴンツ。

音を立ててアルミ缶が落ちる。

腕の主と美奈が同時に声を立てる

「「あ。」

腕の主「ぎゃつ。」

??「哉実^{やみ}・・・遊・・・ぶな・・・。」

哉実「いきなり何すんだよ!!!」

??「お前が・・・他人に迷惑を・・・かけるからだ。」

恐ろしく寡黙な男が腕の主である陸の頭に拳を落としたようだ。

そこで更にその寡黙な男の後ろからヒョイツと武骨そうな男が出てくる。

??「まあまあ陸^{りく}も落ち着いてさあ。すいませんねお姉さんウチの馬鹿が迷惑をおかけしまして。」

前言撤回、明らかにオカマのようなしぐさをした男が出てきた。

哉実「笹^{ささ}からも言ってくれよ。そして馬鹿は余計だ。」

笹「あら、本当のことをいっちゃ悪いのかしら。だいたいアンタは抜けてるのよお。」

哉実「なにい!?!どこがだ!」

笹「アンタが買ったジュースは120円だけど貴方がお姉さんに渡したプリンは80円でしょ?」

哉実「ああ、だからか。」

美奈「い、いや違いますよ!!!」

陸「その前に・・・スプーンだる・・・。」

哉実・笹「ソレだ!!!!!!」

美奈「ハッ、ソレです!って、違いますううう!!!」

??「だー!!!お前らは何時までコントをやつとるんだ!!!」

笹の横にいた小柄な少女が叫ぶ。

少女「すいませんね、お姉さん。ウチのバカ供がご迷惑をおかけして。」

とても丁寧な口調で少女は詫びた。

美奈「あ、いえ、何もそこまで・・・。」

思わず美奈も謝りそうになる。

哉実「どこに不備があったってんだよ咲ちゃん。」

咲「ソレに気づかぬ時点で既に不備だが・・・?」

出席番号1番 出会いは最悪の形で（後書き）

読み返してみると凄いムダにテンション高い小説・・・W

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9103c/>

私立蒼月高等学校

2010年10月11日00時08分発行